

# 阿寒病院 署名 民営化反対

# 地域有権者の過半数を突破しました !!

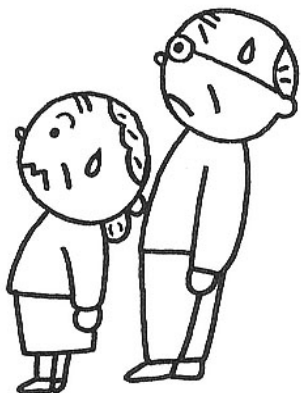
さらに大幅に上積みして、民営化を撤回させましょう

## 4月の民間法人の募集は とりやめるべきです

署名が有権者過半数を超えたことにあせった市は、4月にも阿寒病院を引き受ける民間法人を募集すると言いはじめました。民営化が地域から支持されていないことがハッキリしたので、民営化の既成事実を一刻も早くつくろうということなのでしょうが、そんなことをすれば、取り返しのつかないことになってしまいます。

まずは、いったん民間法人募集の準備を白紙に戻し、住民との話し合いを続けること、医師や医療スタッフの協力を得て、病院経営の立て直しをするべきです。

なぜ、そんなに急ぐのですか



村上かずしげ 通信2/26

発行 共産党市議団 23-5212

検討委員会が  
民営化を進めようとしても

阿寒住民の多数の声は民営化反対、  
署名の数でハッキリしました。  
それでも、  
市長は地域の声を無視するのか  
そのことがいま、問われています。



12月議会の答弁で、蝦名市長は「市立阿寒病院について、今の医療機能を守るためには、市立のままでは難しい。民間の可能性を探りたい」「3月までに、阿寒病院を引き受ける民間病院の募集条件などを決めて、来年度早々に募集をする」と答弁しました。  
こうした行政のやり方に、町民の反対が一気に広がりました。昨年12月中旬、民営化の撤回を求める署名活動がスタート、市が主催した説明会(1月23日から)までに、阿寒地域の有権者の過半数2千3百筆を突破、旧釧路市内の分なども含めると、全体で3千を大きく超えました。署名は、今でも毎日寄せられています。

このちらしは政務調査費でつくりました。